永山駅周辺再構築に向けたまちづくりの視点

まちづくりの

視点

①誰もが安心して利用でき、歩いて楽しいまち

②バスや鉄道、自家用車などが利用しやすいまち

③様々な暮らしや活動ができる、賑わいあるまち

④周辺の貴重な緑や眺望を、より活かす

その他(

2 アイデア

より良くしたいこと(機能・アクティビティ等)

商業・賑わい

居心地のよい飲食店・カフェ

- 長居できるカフェ
- ・テラスカフェ
- ・女性が1人で入れる飲み屋
- (多様なイベントスペース ・音楽ライブ、ビアガーデン、
- フードカー
- ・ドーム型イベントスペース ・地域住民の交流できる場

・情報の発信源

・自分の庭のような感覚を持て

自由に使える場所の充実 ・子供の遊び場がある施設

文化・交流 - 働く

ビジネスの促進

- ・個人事業主や小さい会社を支える仕組み
- ・コワーキングスペース
- ・誘致のための補助金
- ・雇用の創出

文化の創出

- アートを感じる設計
- ・大人も子供も利用できるシネマ

その他

・利用料を取れる施設

公共施設

駅前に市役所機能を

- ・駅に市役所機能が欲しい
- ・市役所へのアクセスが不便

医療•福祉 子育て

子育て支援の充実

・保育園の送り迎えを簡単にで きないか

多様な住宅

世代間交流を生み出す住宅

シェアハウスなどが増えると 学生も増えるのでは

交通

便利な駐輪場・駐車場

- ・駐車場・駐輪場の集約
- ・子供の利用を無料に
- ・1Fを全て駐車場・駐輪場に

改札周辺の利便性向上

- ・改札前をデッキに
- ・京王と小田急の改札を1つに
- 機能別フロア展開
 - 自転車専用道
 - 美しい駅舎

その他

オープン スペース

商業ができる柔軟な活用

- 営業が出来る仕組み
- ・チャレンジショップ

自然とのふれあい

- ・自然の説明や動線を整備
- 森を愛でる仕掛け
- 本物の鳥のさえずり

その他

- ・子育て世代の憩いの場
- 高架下交通公園

その他

4 計画のポイント

5 コンセプト

タイトル

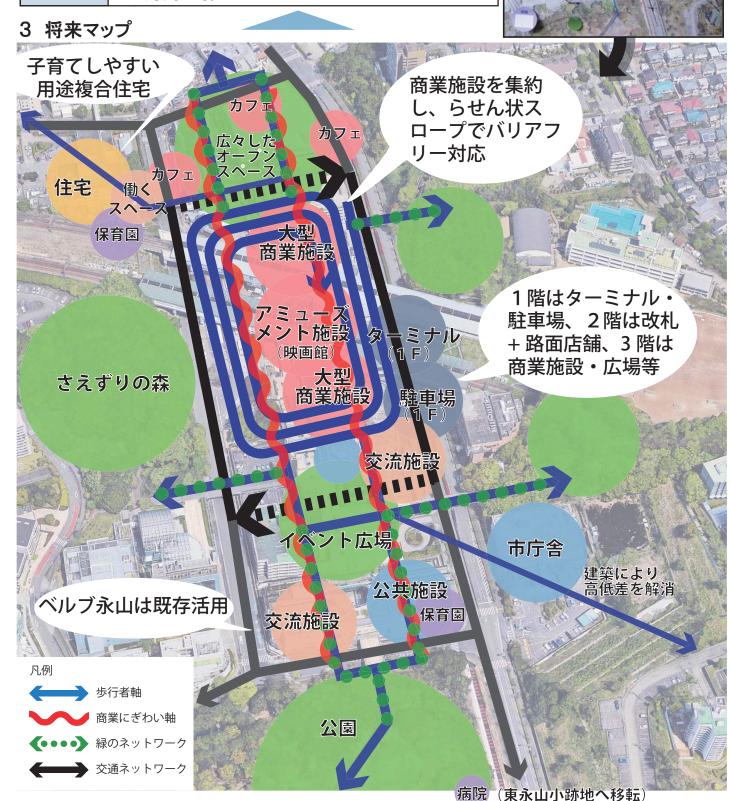
3つ

計画の ポイント

① 駅上に全てを集める

立体都市 永山

- ② 南北をフラットにつなげる
- ③ 外周に緑を



第2回ワークショップ 2018年7月29日(日) 【理想の永山駅周辺を考える】

■ワークショップ案